

カムカムはっぴい

春号

発行元
株 番 地 銘 石
青森市堤町 1-3-16
フリーダイヤル
0120-75-1483

今年の冬は雪片づけの毎日だったと思います。皆様、本当にお疲れさまでした。近年稀にみる大雪でパンチ除雪隊も大活躍でした。

霊園の中は、なかなか雪融けが進んでいません。春彼岸中は天気が悪かったため、お墓参りに行こうと思つていますが、無理に雪かきをしないようにしてください。スコップがあたると石が欠けてしまいます。お墓参りは雪が自然に融け、気温が上がる5月のGWあたりをお勧めします☆

月見野工場をミタ

タイトルすみません。もう古い？まだいける？さあ、気を取り直して：

カムカムはっぴいの発行開始から、今年で2年目になるのですが、月見野工場の中や機械の話題に触れたことがあります。やき：記事素材の宝庫なのに

工場とある出来事があったので機械の説明なども併せて書いてみたいと思います。

去る2月8日(水)、当社の工場を見学したいと若い方々が団体で月見野へいらつしやいました。見学というのは初めてで迎える側の私たちもドキドキ☆

見学の前にどのような機械があるのか、動かし方などをまとめた紹介VTRを見ていただきました。VTR終了後は工場の中や作業を見るだけではなく、実際に機械を動かす体験もしてもらいました。

☆体験①・石磨き☆

写真の機械が研磨機です。砥石は小さい番数ほど荒く、大きい番数ほど細かくなります。小さい番数から磨き始め、段々と大きい番数へしていきます。最後に艶出しをして完了です。石はダイヤモンドで加工しています(人造ダイヤモンドですが：)



男性の方が体験していましたが、力の入れ方など難しかったそうです。

縦に磨いたら次は横、その次は縦と繰り返すのですが、機械の力が強いので体をもっていられないようにしないといけません。

☆体験②・穴あけ加工☆

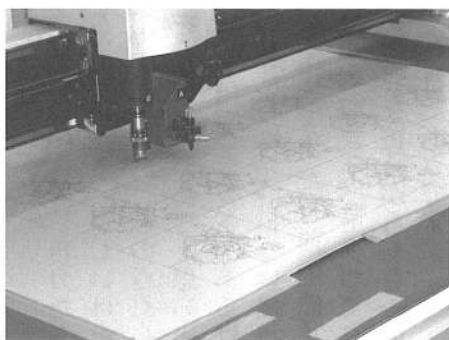
穴はコアビットという筒状の工具であけます。先端のふちにダイヤモンドが埋め込まれています。



写真は花立ての穴あけ加工中です。中心がずれないように印をつけたり、セットしたりと穴あけ前の準備も重要になります。

☆体験③・彫刻データ編集とゴムシートの作成☆

彫刻をするお客様へ原稿の確認をしていたら、原稿をパソコンに取り込みゴムシートを作成します。



一刀彫りという機械です。写真寄りすぎですね。

今回は工場長が描いた「カーリングねぶた」を作成しました。

パソコンが好きな方が多かったです。データ編集では多くの方が体験されていました。石屋でパソコンを使用するとイメージがあまり無かつたようで、少し驚いていた方もいらつしやいました。

現在でも、一石五輪塔に彫刻をするときなどは石にゴムシートを貼り、カーボン紙を用いて文字を書き写し、文字をカッターで一文字、一文字切つていく昔ながらの手仕事の技法を使用することもあります。

☆体験④・彫刻☆

最後は彫刻の体験です。作成したゴムシートを銘板に貼り切り抜きをします。黒い石に砂を噴き付けると、ゴム抜きをした部分は白っぽくなります。ゴムをそのまま残した部分は砂があらならないので黒いままで。



ピンセットでゴムを抜く細かい作業です。

文字彫刻は文字の部分をゴム抜きしますが、絵の場合はゴムの残す・残さないを間違えると出来上がりがおかしく

なってしまう。
さて、彫刻作業に入ります。高さ3メートルほどある大きな箱、その中に銘板をいれま
す。手袋をはめ、砂が噴出す
るコンプレッサーを持ち、銘
板に砂を噴きつけます。



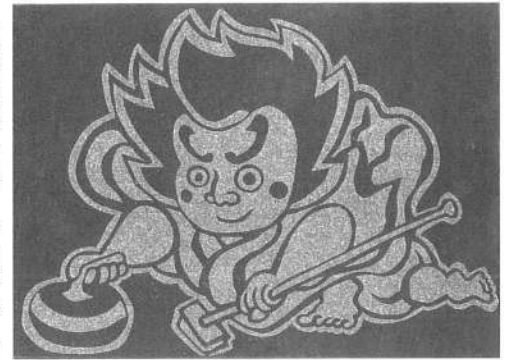
砂を噴きつけています。

先程から「砂」と何度も出
ていますが、砂場の砂とは違
い、金属で出来ているものを
風圧で飛ばします。

今回は絵なので浅めに彫り
ましたが、お墓の正面文字や
戒名は深く彫るため時間がか
かります。

下の写真が完成した「カー
リングねぶた」です。白く
なっているところがゴム抜き
をした部分になります。

自分で描いたイラストを彫
刻した方もいたので、とても満
足していた良かったです。



工場見学を終えてみて、ど
ういう反応があるのか最初は
不安がありました。しかし、
見学の方々の表情が変わって
いく様を見ていて、こちらも
一緒に楽しめた時間となりま
した。人に説明する難しさを
改めて知りましたが、逆に自
信もついた出来事となりました。

月見野花店

今年4月21日(土)から
オープンします♪

当初、4月1日オープン
予定でしたが、
雪融けの様子
を見て変更す
ることとなり
ました。
冬の間に店内



をリニューアルしました。お
茶飲みスペースもあるので、
のんびりできますよ☆お墓参
りだけでなく、お散歩の休憩
場所としてもご利用ください
ませ。お待ちしております♪

見学で教えられたこと

月見野工場を20人もの団体
が来たのは、番地銘石始まっ
て以来です。最初に見学した
いと聞いたときは、なんでま
た若い人たちが、石屋に興味
があるのかな?と不思議に思
いました。

担当の方と打合せをしてい
くうちに、工場のみんなから
せつかく見てもらうなら恥ず
かしくないようにしようと、
どんどん準備がレベルアップ
していききました。

作業工程別にチームに分か
れ、見てもらうコースを決め
、体験用に石のサンプルを集め
、機械を安全に使えるように周
りをかたづけ、ストープを追
加し、会議室を整備し、事前
説明用に作業案内のビデオま
で撮影してしまいました。な
んか普段の仕事よりみんな張
り切っているみたい!ちな
みにその後、事務所のトイレ
は汲み取り式ではありませんが

みんなで大改装し御影石を
はって立派になりました)

当日は、本店に1人だけ
残ってもらって、全員が月見
野工場に対応しました。

皆さんは最初遠慮がちに見学
していましたが、加工作業に
参加していくと、目に見えて
積極的になっていきました。
参加者が増えたので予定時間
をあとという間に過ぎてしま
いました。

ああそういえば、自分たちも
石に向かつて、難しいけれど
出来上がったときのうれしさを
昔感じていたなと思いつけ
ました。ベテランであるはず
の私たちは、ついつい慣れて
しまつて当たり前の感覚にな
つていきます。モノづくりの
楽しさを彼らからもう一度教
えられたようです。

そういえば工場の奥の建物
は古い木造なんです。昔の
造道小学校の講堂を解体した
木材を組み直して造つたと先
代から聞きました。元が学校
なので教えたり教えられたり
する力がどこかに蓄えられて
いるのかもしれないね。
みなさんありがとう。

番地常夫

スタッフじゅりこの ほのぼの育児日誌

早いもので息子は3才、娘
は7カ月になりました。

自分のテリトリーに妹が
入ってくるのを嫌がる兄とお
兄ちゃんと遊びたいだけの妹
こんな2人なので、毎日、妹
をいじめる兄がいます…。

その日もズリズリとズリバ
イでテリトリーに入る妹。危
険を感じ「来ないで!!」と叫
ぶ兄。効き目がないとわかり
兄は妹をゴロゴロゴロツと転
がしテリトリーから出すと、

「がんば、このっ!!」と言
それを聞き、ジジが「あちゃ
〜」と思つたのは言うまでも
ありません(笑)ジジババ津軽
弁を聞いて育っている3才児
なので、その言葉を使うタイ
ミングもバツチリです。

ところで、「がんば」って
わかる人、どれくらいいるん
だろう…。

編集後記

工場のこと、少しは知って
いただけたでしょうか?

そろそろ春です。桜の時期は
月見野へどうぞ。(じゅりこ)

